

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【公開番号】特開2009-104196(P2009-104196A)

【公開日】平成21年5月14日 (2009.5.14)

【年通号数】公開・登録公報2009-019

【出願番号】特願2009-27372(P2009-27372)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/18 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/01 (2006.01)

G 0 2 F 1/37 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 5/20

G 0 2 B 5/18

G 0 3 B 21/00 D

H 0 1 L 21/30 5 2 7

H 0 1 L 21/30 5 1 5 B

G 0 3 F 7/20 5 0 5

H 0 1 L 21/30 5 2 9

G 0 2 F 1/01 F

G 0 2 F 1/37

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月19日 (2010.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】波長選択素子、光源装置、画像表示装置及びモニタ装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

本発明は、波長選択素子、光源装置、画像表示装置及びモニタ装置に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光を発光する複数の発光素子から射出されたレーザ光のうち所定の選択波長が選

択される光選択領域が1つの基体に複数形成された波長選択素子であって、

前記複数の光選択領域のそれぞれに、干渉縞が形成された干渉領域が設けられ、少なくとも一つの前記干渉領域の干渉縞の間隔が、残りの前記干渉領域の干渉縞の間隔と異なり、

複数の前記干渉領域の境界部分に、それぞれ間隔の異なる複数の干渉縞が重ね合わされて形成されていることを特徴とする波長選択素子。

【請求項2】

複数の前記干渉領域の形状がすべて同一であることを特徴とする請求項1に記載の波長選択素子。

【請求項3】

隣接する2つの前記干渉領域が重なっていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の波長選択素子。

【請求項4】

隣接する2つの前記干渉領域が間隔をあけて形成されていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の波長選択素子。

【請求項5】

複数の前記干渉領域が2次元に配列されていることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか1項に記載の波長選択素子。

【請求項6】

複数の前記干渉領域の前記基体の厚み方向に垂直な方向の断面積が、前記厚み方向に漸次あるいは段階的に大きくなる形状であることを特徴とする請求項1から請求項5のいずれか1項に記載の波長選択素子。

【請求項7】

光を射出する光源と、

該光源から射出された光のうち所定の波長の光を選択して透過させる請求項1から請求項6のいずれか1項に記載の波長選択素子とを備えることを特徴とする光源装置。

【請求項8】

請求項7に記載の光源装置と、

該光源装置から射出された光を画像信号に応じて変調する光変調装置と、

該光変調装置により形成された画像を投射する投射装置とを備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項9】

請求項7に記載の光源装置と、

該光源装置から射出された光により被写体を撮像する撮像手段とを備えることを特徴とするモニタ装置。